



森の守護神

# 森ボラ 通信

第248号 2023年1月20日発行  
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com



## 2023年 新春



### 価値変容の時代

NPO 北海道森林ボランティア協会  
理事長 横山 清

明けまして、おめでとうございます。

昨年、コロナ禍に加えて、ウクライナ侵攻による戦争、それに加えて世界中に大被害を及ぼす自然災害の続発、そしてインフレーション<sup>ほっぼつ</sup>の勃発もあり、経済界の一部では、「めでたさも中ぐらいなり俺が春」と嘯<sup>うそぶ</sup>く声も聞

こえます。

しかし、地道ではありますが着実に前進する我が北海道森林ボランティア協会は創設以来20年を経過して新しい21年目の新年を迎えることができました。誠に嬉しく目出度いことであります。

20周年記念式典の際に、10年前に記念植樹した木の成長ぶりに感動すると同時に「継続は力なり」との言葉を嘯みしめ心に刻みました。GDPが高くなれば幸せになると頑張ってきました。時間に追われ、忙しさを拡大してきましたが、未来の不安は増すばかりの生活は、この儘で良い筈はありません。

動かしがたい自然の摂理に向き合う森ボラ活動では自ずと謙虚になり、刹那主義ではなく、子の世代、孫の世代を考える尺度が受け継がれていると理解しております。管理され計算される時間も大切ですが、喜びや感動など自然と人間が生み出す時間こそが人の和、つながり、安心であります。森ボラの小さな集まりが地道な活動を通じて理解され、やがては社会を変える力になっていくことを、ひそかに願っている次第です。

(森の写真・三橋)

## ◆ 2023 年活動始め

今年の活動は1月10日に雪の中で始まり、朝礼では今年も安全な活動を元気よく行う事を誓い合いました。澄川環境林では年末からの降雪で新たに40~50cmの雪が積もり、ひっきりなしに雪が降り、止みそうにないので今日の活動は除雪としました。まず、駐車場の除雪が業者との連絡が取れずに雪が残っていたので門扉周辺の雪を片付け、各小屋周り、ベンチ、机、マキ乾燥小屋、テント小屋、杭乾燥小屋そして軽自動車の除雪を皆で行いました。屋根上の雪は下方が氷で固まり作業に時間がかかり、お正月明けの汗が大量に出て、12時頃となり終礼後に解散しました。

予定していた伐倒安全講習は、次回に行う予定です。(文・事務局)



全員で小屋前の除雪作業



マキ乾燥小屋の雪下ろし

## ◆ 第1回冬季セミナーを開催

12月15日(木)に2022年度第1回冬季セミナーを、札幌エルプラザで開催しましたので概要をお知らせします。

会員例会では「2023 澄川環境林基本計画」の検討に向けて参加者が三つのグループに分かれて意見を出し合いました。このようなグループ討議は当会では経験が無かったのですが、活発な意見が出されていました。今後は今回の参加者と欠席者の意見をまとめ清澤さんをリーダーとする8名のメンバーによる検討会で集約して方向性を纏める予定です。

その後北海道木材産業協同組合連合会 専務理事 工藤森生さんによる「森の知識、そして森林啓発活動の成功と失敗」と題した講演を開いていただきました。工藤さんは前北海道空知総合振興局 森林室 室長を務められ、野幌道有林の活動では大変お世話になりました。我々の会での講演は親子森林教室の立ち上げから3回目です。

主な内容は1. 「森」と「林」の違い? 2. 北海道における針葉樹と広葉樹の特徴 3. 天然林と人工林の特徴 4. 地域で行う森づくりと木づかいの意義 5. 森林啓発活動における成功例と失敗例の各項目でした。

その中で我々の活動で陥れやすい示唆に富んだ項目を以下に挙げます。①森林啓発活動に正解は無く、永遠に試行が続く。②失敗例を積み重ね、反省と修正を繰り返す。③頑張らない! 一気に成果を求めない! そして長く続ける。

親子森林教室の実行へのアドバイスとしては①2時間程度、5分前には終わる。②子供たち対象のプログラムは1, 2個。③考えさせる。子供が考えて行動する。④木でできたものは壊れる。④疲れるものはやらない。④自分の名前を呼ばれるとうれしい。⑤硬い言葉は使わない。など参考になる項目ばかりでした。

工藤さんにはこれからも当会の様々な活動のアドバイスをいただきたいと思います。ご講演ありがとうございました。(文・樫棒)



## ◆ 澄川第一樹木園の毎木調査の結果報告

澄川環境林のA-3区にある第一樹木園は2011年に設置され、毎木調査を5年毎に行って間伐後の樹木の生長を観察してきました。2022年8月に3回目の毎木調査を行いましたのでその結果を概略報告します。

調査は先ず樹木園の区画を確定することから始まりました。11年も経過するとさすがに生長により標識プレートが外れたものが一部に発生し、残った標識プレート付きの木を探しながら改めて区画の線引きをすることになった訳です。この結果面積が6%ほど増えて0.265haとなりました。(当初は50m×50mの0.25ha)

毎木調査の結果、樹種別の本数、総材積等は表1の通りで、本数ではミズナラが1/3ほどを占め、エゾヤマザクラ、シラカンバ、ハウチワカエデなどが多くを占めています。また、総材積でもミズナラが1/3を占めますが、生長が早いシラカンバの大きさが目を引きます。

樹木園全体の1haあたりに換算した本数と材積の2011年から11年間の経年変化を観ると、本数は漸減していますが、材積は顕著に増えていることが判ります。

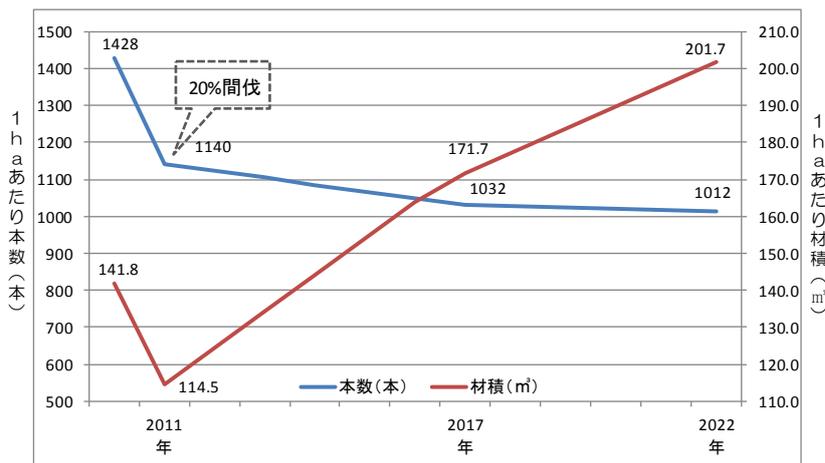
今後は、毎木調査の結果を受けて、2023年度に更に20～30%ほどの間伐を行い、また、現在樹木園には無い樹種を増やしていく予定です。

(文・清澤)

＜表-1 樹種別の本数、平均直径、総材積＞

樹種	本数	本数比率 (%)	平均直径 (cm)	総材積 (m <sup>3</sup> )	総材積比率 (%)
ミズナラ	77	28.7	18.6	18.525	34.7
エゾヤマザクラ	34	12.7	14.3	4.470	8.4
シラカンバ	33	12.3	24.6	12.736	23.8
ハウチワカエデ	30	11.2	5.9	0.366	0.7
アカイタヤ	17	6.3	10.6	1.446	2.7
シナノキ	16	6.0	16.0	3.020	5.7
イタヤカエデ	16	6.0	16.4	3.322	6.2
クリ	8	3.0	26.0	3.990	7.5
ホオノキ	7	2.6	19.7	1.757	3.3
アズキナシ	7	2.6	8.3	0.260	0.5
ハリギリ	5	1.9	19.2	1.244	2.3
イヌエンジュ	5	1.9	15.8	0.689	1.3
その他: ヤマモミジ、ナナカマド、キタコブシ、ウダイカンバ、アサダ、ミズキ、オオバボダイジュ 各3～1本					
合計(19種)	268	100.0	16.1	53.407	100.0

＜図-1 樹木園全体の1haあたりの本数と材積の経年変化＞



## ■ 澄川の自然 41

### アズキナシ (小豆梨・バラ科・ナナカマド属)

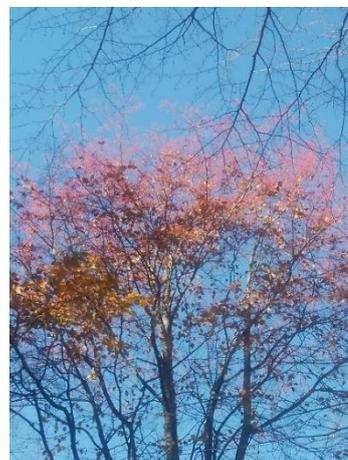
11月、ほとんどの木が葉を落としてしまい、地面はふかふかのジュウタンを敷き詰めた様な状態になっていました。こんな所を歩けるなんて何と幸せな事かと思いつながら今年も又、コナラの木を特定できなかったなあ～とB-5地区を散策していました。

下ばかり見て歩いていて、ふっと上を見上げると真っ青な秋空に桜が咲いた様に梢がピンクに染まっている木を見付けました。

樹高15m位、胸高周長140cmでしょうか、葉を落とした木ばかりの中でも目立ちました。何とアズキナシの木です。

アズキナシの赤い実は秋の内に落ちてしまうものばかり思っていたが、成木になると年を越して2月頃までしっかり木に残るものなののでしょうか。

バラ科でナナカマド属だと知ると納得です。街路樹のナナカマドの実も2月頃まで赤く残っていますものね。(写真/文・西野(澄))



## ■ おしらせ

### 澄川南小の森林活動が奨励賞を受賞！

(公財) 安藤スポーツ・食文化振興財団が主催する「第21回トムソーヤスクール企画コンテストにおいて、澄川南小学校と森ボラが協働で、澄川環境林で行っている森林活動『すみなみSDGs～澄川の森でSDGsを体感！実践！』が奨励賞を受賞しました。「マイツリー活動」から展開する森林観察や清掃活動など、子どもたちの興味を実体験を通じて引き出しながら、森林保全について学ぶことができる教育効果の高いプログラム内容が評価されました。(文・事務局)



## ■ 今月の幹事会

出席者(1/11):大窪・荻田・檀棒・加藤・清澤・西野(澄)・松藤・三橋・矢野

1. 2023年2,3月活動スケジュール(2月幹事会2月8日(水)):了承
2. 2022年12月末会計報告:新規賛助法人会員入会 沢田建設(株)(釧路市)
3. 2022年度森林・山林多面交付金事業12月活動報告:消耗品購入は締切りました。
4. 「2023 澄川基本計画検討会」報告:了承
5. 2023年度(第八期)親子森林教室の募集状況:  
継続2年目2名・3年目5名、新規10名、合計17名を了承。
6. CSR活動“じょうてつ”の森づくり”の次年度計画:1月23日に打合せ実施。
7. 森と緑の会 緑化公募事業助成金の申請およびトムソーヤスクール企画コンテスト受賞:奨励賞受賞。
8. 2023年度の森ボラ活動計画:澄川基本計画検討会の意向を踏まえて1月中に取りまとめ予定。
9. 現場報告
  - ・整理伐状況報告:了承
  - ・澄川環境林標準木調査中間まとめ:対象木が多く時間がかかる。北地区も含め検討必要。
10. その他
  - ・活動交通費精算方法の一部変更:今後は端数処理を行わないことを確認。
  - ・ゼロカーボン・チャレンジャー制度による賛助会員募集:ホームページの改修必要。

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
12月17日(土)	澄川	20	E-8区整理伐、集材
12月20日(火)	澄川	21	活動納め、除雪、見廻り(管理地区～北地区)
1月10日(火)	澄川	13	活動始め、除雪
1月11日(水)	ラズビールBF1	9	幹事会
1月13日(金)	野幌道有林	4	食害防止網点検・補修
1月15日(日)	澄川	15	伐木安全講習会